

会議名称	平成23年度 第1回 倉吉市国民健康保険運営協議会		
開催日時	平成23年7月14日(木) 13時57分から14時55分まで		
開催場所	倉吉市役所 大会議室		
議題	1 協議事項 ① 平成22年度国保事業決算について ② 平成23年度国保事業について ③ 平成24年度国保事業運営について ④ その他 2 その他		
出席者	出席委員9名(欠席委員7名)		
	所管部課名	福祉保健部医療保険課	
公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	1人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

【会議の概要】

1. 開会

2. 新任委員の紹介

保険医又は保険薬剤師代表委員(中部歯科医師会推薦)の交代による。(任期:平成23年7月1日~平成24年7月24日:前任者の残任期間)

3. 議事

(1) 協議事項

①「平成22年度国保事業決算について」

②「平成23年度国保事業について」

[事務局] 会議資料に基づき説明。

平成22年度は、平均被保険者数の減少と1人当たりの医療費の伸びで、全体的な医療費は対前年度0.22%、保険者負担額は0.5%の増加であった。

平成22年度歳入のうち、前期高齢者交付金が平成20年度精算により約1億円想定より減収となり、また、平成23年度も前期高齢者交付金が平成21年度精算に伴い約1億7千万円減収となる見込みであったため、平成22年度に追加補正として一般会計繰入金で1億円増額し、基金に積み立てた。

平成22年度末基金残高は、1億円の積み立てと、歳入・歳出の不足分1億3千8百万円の繰り入れにより、4億2千8百万円となった。

平成23年度予算は、前期高齢者交付金の約1億7千万円の減収見込みにより、基金繰り入れが2億2千万円となり、年度末基金残高は2億8百万円となる見込みである。

平成23年度予算によると、平成23年度末の基金残高は2億8百万円となるが、これは、平成22年度の追加補正として1億円積み立てた結果であり、これがなければ基金残高は1億8百万円となっていた。

平成23年度については、国保事業については運営できるが、平成24年度以降については、歳入・歳出、基金残高等を勘案すると、保険料改定の検討を行う必要が生じる。

[委員] 前期高齢者交付金の精算について、前々年度の概算と確定の差が大きく精算額が多くなったとの説明があったが、どうしてそうなるのか。差が大きいと、今後の会計の見通しが困難になるのではないかと。

[事務局] この制度は、平成20年度から開始された制度であり、前例がなく概算額が過大に算定された結果となった。平成24年度以降は、平成22年度以降の精算となり、概算と確定の差は小さくなるかと考えている。

[委員] 平成24年度以降の国保財政を考える場合、医療費の動向は大きな影響を与えるが、近年の傾向はどうか。

[事務局] 平成21年度は、総医療費が大きな伸びを示した。これは、被保険者は微増であったが、受診率、1人当たり費用額とも増加を見せ、医療総額は対前年度5%アップとなった。平成22年度は、被保険者、受診率とも減ったが、1人当たり費用額が増えた

ため、医療総額として微増となった。近年の傾向は、医療の高度化等により、受診率等は減る傾向にあるが、1人当たり費用額は増える傾向となっている。

[委員] 基金の保有額の基準はあるか。

[事務局] 基金保有額は各保険者の判断によるため基準はない。しかしながら、基金保有の意義から考えると、万が一の給付費の伸びに対応すべき額を積み立てるようすべきである。その額がいくらかは判断が難しいところであるが、保険給付費の約1ヶ月分、約3億円程度を保有していきたいと考えている。

[会長] 引き上げた時の一般会計繰入金の考え方をもう一度説明して欲しい。

[事務局] 平成22年度の保険料率改定に伴い、一般会計繰入金を増額した。これは、厚生労働省等の通知等による財政安定化支援分及び事務費分として1億円増額することとし保険料引き上げ幅を抑制した。この措置は、平成22年度以降継続して行うことを財政サイドと確認している。

③「平成24年度国保事業運営について」

[事務局] 会議資料に基づき説明。

保険料を引き上げる、引き上げないにかかわらず、保険料の検討は必要であると考ええる。仮に保険料を引き上げる場合、事務局としては12月議会に料率改定を提案しようと考えている。この場合、逆算すると遅くとも11月初旬には諮問を受ける必要があり、8月から10月の間に本協議会で検討をお願いする予定である。

[委員] 保険料検討に当たり、国保の財政状況を市民の方に情報提供することは考えているか。

[市長] どの時点でというタイミングもあるが、一定の方向性がでた時点で、他団体と比して本市がどのような状況にあるかなどを情報提供していかなければならないと考える。

[会長] 次回開催予定の運協には、前回の料率改定の経過及び結果等を資料として提供していただきたい。

[事務局] 諮問、最終時の保険料検討資料、答申等をまとめて提供したい。

④その他

[事務局] 次回、開催については、調整して8月下旬に開催予定としたい。

[事務局] 池田委員が鳥取県国保連合会理事長表彰を受けられる。

(2) その他

被用者保険等保険者を代表する委員から、「協会けんぽ」におけるジェネリック医薬品差額通知の事業実績について紹介あり。

4. 閉会